

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
令和2年（2020年）8月1日

第1回臨時会、第2回臨時会、 第3回臨時会及び第2回6月定例会の概要

令和2年第1回臨時会は、4月23日に、令和2年第2回臨時会は、5月1日に、令和2年第3回臨時会は、5月19日に開会し、それぞれ会期を1日間と決定し、市長から提出議案の説明を受け、議案審議及び議決を行い、閉会しました。

令和2年第2回6月定例会は、6月1日に開会、会期を19日までの19日間と決定し、初日に市政の報告と提出議案の説明を受けました。

本定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクの着用や一般質問などの時間短縮などを実施しました。

本定例会には新型コロナウイルス感染症対策に係る条例等の一部改正、令和2年度五條市一般会計補正予算などの重要案件が市長から提案され、それぞれ慎重審議を行うとともに、8名の議員が一般質問を行い、また、総合体育館及び公園緑地課等の事務・事業並びに入札及び随意契約の締結に関する調査特別委員会を設置し、6月18日に議事が全部終了し閉会いたしました。

目次

一般質問	2～9ページ
総務文教常任委員会の報告ほか	10ページ
厚生建設常任委員会の報告ほか	11ページ
表決結果と議決結果	12ページ
議決結果ほか	13～15ページ
調査特別委員会決議ほか	16ページ

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



窪 佳秀議員

Q: 新型コロナウイルス感染症対策について

A: 現在実施している感染症対策を継続する。

新型コロナウイルス感染症対策について

窪 感染症第2波・第3波の感染防止対策について伺う。

すこやか市民部長 現在実施している感染症対策を継続すると共に感染防止物品の備蓄を進める。

窪 感染症対策本部での教訓を今後に役立ててほしい。避難所の感染防止対策について伺う。

危機管理監 3密状態が予想される避難所運営は、咳エチケット等基本的な対策の徹底。マスク、石鹸、手指消毒用アルコール消毒液を準備、十分な換気、スペースの確保、各避難所に段ボールパーティションを配置、共有使用部分については、次亜塩素酸ナトリウム等で消毒の徹底を図る。
窪 避難者の分散について

伺う。

危機管理監 従来の避難所の部屋に加え使用可能な部屋数の把握、避難者の分散を行う。

また、安全な地域にいる家族や親戚、知人宅への避難も呼びかける。

窪 臨時的な一次避難所の検討、例えば学校等の空き教室、安全な場所で車中で一時避難も有効である。避難所での感染防止備蓄品について伺う。

危機管理監 マスク、アルコール消毒液、防護衣、環境用消毒液、段ボールパーティション、体温計を準備している。

窪 マスク着用時の熱中症対策について伺う。
あしん福祉部長 3歳未満の乳幼児については気管も狭く、呼吸等の確認も必要なことから、咳等で本当

に必要な場合に着用する。3歳以上の園児については着用している。屋外で十分な間隔が確保できる場合は、熱中症のリスクを考慮しマスクを外している。冷房等で室温に気をつけ、こまめな水分補給を行っている。

教育部長 学校教育活動では基本的には常時マスクを着用し、気候の状況により健康被害が発生する可能性が高い場合は、水分補給や換気、児童・生徒間の距離を保ちマスクを外すことも考えられる。体育の授業、部活動についてはマスクの着用は必要ないとしている。
窪 ごみ収集時の感染症防止対策について伺う。

産業環境部長 業者に、廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施し感染予防に努めるよう依頼した。
窪 ごみの出し方の協力依頼について伺う。

産業環境部長 新型コロナ

ウイルスなどの感染症対策のための家庭でのごみの捨て方のパンフレットをホームページに掲載し、今後、広報五條や自治会への回覧で周知を行う。



主任児童委員について

窪 職務内容について伺う。
あしん福祉部長 地区担当児童委員との連絡調整や活動に対して必要な援助・協力を行い、子供が安心して豊かに暮らせるように、専門的な知識・経験を生かし児童健全育成活動を行っている。

窪 啓蒙・啓発について伺う。

あしん福祉部長 ホームページをはじめ市内各所の子育て世代が利用する施設やイベント会場等において活動内容の周知を行い、情報発信に努める。



Q: 教育環境の整備について

A: ICT環境を整え、将来的にオンライン授業ができるように取り組む。

福塚 実議員

新型コロナウイルス感染症対策について

福塚 学校内での新型コロナウイルス感染症防止対策について伺う。

教育部長 教室は1時間に10分程度、2方向の窓を開けて換気。エアコンは室温に応じて換気を行いながら、適切に使用している。

また、多くの児童・生徒が手を触れるドアノブ、手すり、スイッチなどは、1日1回以上、消毒用エタノールなどを用いて消毒を行い、併せて手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策の徹底を指導している。

福塚 児童・生徒の教室での座席の配置など、授業体制について伺う。

教育部長 児童・生徒の座席の間隔を可能な限り1メートル以上とするよう指導している。人数の少ない学校では広く間隔をとり、人数の多い学校では、教室と廊

下を仕切っているパーティションを外してオープンスペースを活用するなど、学校の規模に応じて柔軟に対応している。

福塚 リモート学習の有効性、取組について伺う。

教育部長 地域や学校によって格差が生まれないようにオンライン学習ができる環境整備に取り組むことは本市においても喫緊の課題である。

国が進めるGIGAスクール構想を導入した。県との共同調達により全ての子供に1人1台、端末が使用できるようにし、高速大容量の校内LAN整備を進める予定。

福塚 GIGAスクール構想に向けての取組について伺う。

教育長 本市では単方向、一方的に教材を流した。最終的には双方向で授業をする形態を整えることでICT

I環境の整備を行う。



五條市インターチェンジの活性化について

福塚 今後の見通しについて伺う。

都市整備部長 五條市インターチェンジ周辺は、県との包括協定に基づき、防災力の強化やヒト・モノ・カネの流入などを目的に、五條西地区まちづくり基本構想の策定に取り組んできた。

福塚 県指針の防災拠点について伺う。

危機管理監 大規模広域防災拠点の整備を進めるために、測量調査、用地測量調査を同時進行で行い、詳細設計、用地交渉へと段階的に行い、工事へ進めるスケジュールを県から地元阪合

部地区への事前説明があった。

共同墓地管理について

福塚 現状について伺う。

産業環境部長 平成14年奈良県内吉野保健所作成の墓地管理台帳では69箇所あり、基数は把握している限りで4,950区画となっている。

福塚 ごみ処理について伺う。

産業環境部長 墓地の管理者で処理をしてもらうことが前提。ただ、処理経費はエコ・リレーセンターのように減免申請をすれば、無料となる。

福塚 墓地の管理者も高齢化しており、運搬できない等もあると思うので、回収は市でするなど、今後の課題として取り組んでほしい。

産業環境部長 実状を把握し要件を整理して、指針を定め基準を作っていきたい。

一般質問

Q: コロナ禍を乗り越える施策について

A: 経済が元通りになるよう有効かつ、市民の方に理解してもらえそうな事業を実施してまいりたい。



山口耕司議員

地方創生臨時交付金について

・特別定額給付金について

山口 一人でも多くの方に行きわたる取組について尋ねる。

市長公室長 総務省から方針等が示され、届かない場合は送付先変更の手続き、自身での申請が困難な場合は代理による申請が可能。

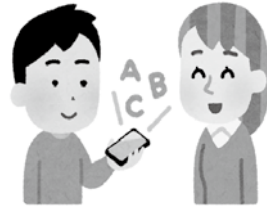
DV被害者に対しては、世帯から切り離して給付するが、個別に事情を把握し対応する必要があるので、お困りの方は、早期に五條市定額給付金推進室に御相談いただきたい。

山口 UniVoice（ユニボイス）で、音声コードにスマートフォンをかざすだけで、印刷物の内容を読み上げてくれるアプリの導入の検討をお願いしたい。

目の不自由な方、お年寄りへの音声通知だけではなく、多言語対応にも活用でき、このような方は「読む」

ことは重労働であり、日本に住む外国人も、見知らぬ文字に囲まれ、不安な毎日を送っている。

UniVoiceで、「読める」をもっと当たり前にできるシステムの導入の検討をお願いする。



令和2年度第2次補正予算について

・ひとり親支援について

山口 感染症対策として、ひとり親家庭への支援について尋ねる。

あんしん福祉部長 ひとり親世帯臨時特別給付金は次の二種類のとおり。

一、令和2年6月の児童扶養手当受給者に対し、一世帯5万円、第2子以降は1人につき3万円が加算された額を、8月末までに児童

扶養手当受給口座に振り込まれ、申請は不要。

二、家計急変により収入が大きく減少したひとり親世帯に対し、5万円の給付で8月の児童扶養手当の現況確認のときに、収入が大きく減少している申請を受けた上で審査し、支給決定を行い、9月以降に支給となる。収入減少の確認方法等の詳細については未定。



・コロナ禍を踏まえた防災、減災対策について

山口 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について尋ねる。

危機管理監 感染症への対応として、マスク、消毒液等の物資や資材の備蓄に要する費用は交付金の活用が可能であることから、非接触型体温計、体育館等の広

いフロアでも個室対応が可能となるテントなどの準備を計画している。



・地方創生臨時交付金について

山口 経済的に困っている方、また、五條市の経済の下支えになるような施策が必要と考えるが、市長に所見を伺う。

市長 多くの方が苦しんでいることは理解している。

今後、国の第2次補正からの交付金の使途については、経済が元通りになるよう有効かつ、市民の方に理解してもらえそうな事業をスムーズに実施してまいりたい。

その他の質問事項

- 1 市施設の利用について
- 2 市税、国民健康保険税介護保険料等について
- 3 GIGAスクール構想について